

令和7年度 教 育 計 画 八幡浜市立双岩小学校						学校番号 031	
校長名	菊池 多恵	学級数	5 (1)	児童数	30	教職員数	8

令和7年度 八幡浜市立双岩小学校教育構想 グランドデザイン

校 訓

正しく つよく 明るく

本校の教育目標

ともに学び、明るくやり抜く双岩っ子の育成

めざす学校像

めざす児童像

めざす教師像

- ◆ 地域に根ざし、優しさと笑顔、意欲にあふれる学校
- 安心して学べる学校

- ◆ 進んで学び、自分を磨く子
- ◆ 自分を鍛え、がんばり抜く子
- ◆ 思いやりを持って人に接する子

- ◆ 厳しさと温かさのある教師
- ◆ 豊かな人間性を備え、日々前進する教師
- ◆ 児童や保護者、地域から信頼される教師

本校の教育目標具現化への取組

業務の効率化・児童と向き合う時間の充実

よく学び、よく考える

- 1 基礎的・基本的な知識・技能の習得
- 2 読書活動の推進
- 3 複式学級における主体的な学習
- 4 学習習慣の確立

挑戦し、やり抜く

- 1 安全・安心な生活
- 2 望ましい生活習慣の確立
- 3 運動の日常化・体力アップ
- 4 防災教育の推進

認め合い、助け合う

- 1 仲間づくり・縦割り班活動の推進
- 2 道徳教育の充実
- 3 双岩を愛する心の育成

教育の根幹

家庭

- ハッピーテーブル20の推奨
- ノーゲーム・ノーネットデーの設定
- 家庭学習・読書の充実
- 基本的な生活習慣の定着・手伝いの推進

地域

- 地域行事・竹の子の集い・県道・市道清掃・文化祭 など
- JRC活動

一 児童や保護者への誠意ある対応と安心して相談できる教育相談体制の充実
二 地域行事への積極的な参加・地域に開かれた学校づくりの推進
三 双岩保育所・八幡浜中学校との協力的体制の推進、他小学校との連携

双岩小学校

運営協議会

重点目標	1 とともに学び、考え、正しく行動しようとする児童の育成に努める。 (1) すべての力の土台となる心の教育を充実させ、児童の自己肯定感を高める。 (2) 基礎・基本と学びに向かう力を重視した授業を行い、確かな学力の定着と向上に努める。 (3) 読書活動を推進し、児童の興味や関心の幅を広げる。 2 困難や目標に向かって挑戦し、やり抜こうとする態度を育てる。 (1) 一人一人の児童理解に努め、望ましい生活習慣の確立を図る。 (2) 人権尊重の精神を基盤とし、互いに高め合いながら進もうとする集団の育成に努める。 (3) 個々の教員の持ち味を生かし、互いをカバーし合うことのできる組織力（チーム双岩）の向上に努める。 3 双岩小学校運営協議会を活用し、温かい地域の中で、認め合い、助け合える集団を育成する。 (1) 家庭・地域・関係機関との連携を密にし、信頼を醸成する。 (2) 地域行事への積極的な参加を促し、ふるさと双岩を愛する心の育成に努める。 (3) 命を大切にする教育活動を推進し、防災教育の充実を図る。
管理運営	1 人的管理 (1) 温かい人間関係（信頼関係）による笑顔あふれる職場づくりと、教育公務員としての服務規律の徹底や社会的信用保持に努める。 (2) 教職員一人一人の能力や個性が発揮できる活力ある職場づくりに努める。また、事務量の縮減に努め、児童に向き合う時間を確保する。 (3) 双岩小学校運営協議会を活用し、業務内容のスリム化・業務改善を行い、ゆとりある職務遂行と心身の健康管理に努め、働き方改革についての理解促進に努める。 2 物的管理 (1) 確実な安全点検の実施により、校舎内外の安全・安心な環境整備に努める。 (2) 毒物、劇物及び薬物の収納や薬物使用管理簿の整備と保管・管理を確実に行うとともに、適切な使用を徹底する。 (3) 緊急時や非常変災時における危機管理体制を整備するとともに、教職員の危機管理能力の向上を図る。 3 事務管理 (1) 効率的な事務処理を行うとともに、個人情報適切な保管・管理を徹底する。 (2) 経費の削減と厳正で正確かつ迅速な会計及び事務処理に努める。
本校教育の特色	1 少人数を生かした学習活動の充実 小規模校の利点を生かし、一人一人のつまずきを把握し、児童個々の実態に応じたきめ細かな指導の充実を図る。複式授業における効果的な授業展開を工夫する。 2 地域学習の推進 地域の自然や文化、人とのかかわりを生かした教育活動（地域の歴史、地域の名人の話）を積極的に展開する。 3 家庭・地域・関係機関等との連携 家庭と連携し、「ハッピーテーブル20（毎日、20分程度の団らんの推進）」や「ノーゲーム・ノーネットデー（毎週火曜日）」を実施し、家庭生活の充実を図る。保育所・小・中学校、家庭・地域との連携のもと、心身ともに健康な児童の育成に努める。 閉校準備委員会を設置し、連携をとりながら心や記憶に残る各種活動を行う。 4 防災教育の充実 地域の防災施設や避難経路、危険箇所等を調べる防災さんぽを行い、児童が主体的に防災について取り組むことができるようにする。また、防災に関する学びの場を確保し、児童の防災意識を高める。

